

発行：新座市立歴史民俗資料館／新座市片山1丁目21番25号／☎048-481-0177

①リニューアルしました！

今年で開館30周年を迎える歴史民俗資料館では、市民の皆様のご理解をいただき、本年2月を臨時休館とし、塗装及び修繕工事等を行ってまいりましたが、3月に装いも新たにリニューアルオープンしました。

ちょうど風薫るよい季節となりました。
どうぞ、皆様おでかけください。

写真（上段） 正面からのシーン



写真（下段） 遠景シーン



②お花も見ごろになりました！

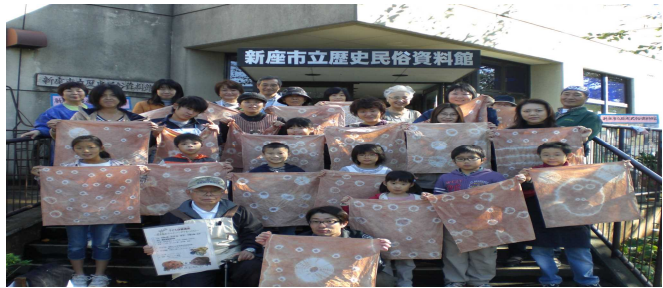
← 今年も敷地内にある自慢の桜が見事に咲き誇り、園庭の草花も競って咲き始めまし

た。まさに百花繚乱の世界です。散歩がてら、ひっぱりょうらん
どうぞお立ち寄りください。

③展示コーナーも模様替えしました！

リニューアルした館内では、展示物の模様替えも行いました。また、今秋には30周年を記念して、「なつかしい昭和の暮らし」をテーマにした企画展や記念講演等も予定していますので、多数の市民の皆様のご来館をお待ちしています。





④平成22年度の事業報告です！

← 昨年度は、館内常設展示や出前講座のほか、8月には夏休み子ども歴史講座「野火止用水の源流を訪ねる」を実施しました。

1日目は事前学習として講話を、2日目は移動学習で実際に野火止用水の上流にある羽村取水堰、羽村郷土資料館や小平監視所のほか、市内の本多緑道などをバスで訪ねました。(写真上)

11月3日の文化の日には、子ども体験講座「草木染めでバンダナ作り」を開催し、当館敷地内の桜の枝を使って草木染めによるオリジナルのバンダナ作りに挑戦しました。(写真中)

一般向けとしては、本年2月から3月にかけて市民文化財講座「中世の歴史道を探訪する」を開講しました。2週にわたる講座でしたが、大勢の歴史ファンの参加により有意義な充実した講座になりました。(写真下)

⑤平成23年度の予定事業を紹介します！

今年度当館では右の事業を予定しています。詳しくは、広報紙やホームページ等でその都度お知らせしますので、お見逃しなく！

→

～予定事業～

- 1 『夏休み子ども歴史講座』 <8月予定>
- 2 開館30周年記念事業 <10月～11月予定>
 - ① “なつかしい昭和の暮らし” 企画展
 - ② “特別記念講演”
- 3 文化財（歴史）講座 <2月予定>
- 4 常設展示 <通年>
- 5 出前講座 <通年>



⑥新たに図書を購入しました！

← 当資料館では、新たに図書を購入しました。興味のある方は閲覧できますので、どうぞご利用ください。

図書名：『さいたま歴史街道』（埼玉新聞社）

『昭和の家事～母たちの暮らし～』（河出書房新社）

あとがき：開館30周年の節目に際し、郷土発展の文化施設としての役割を再認識する意味で、情報紙を発行することになった◆まずは最初の一步である◆折しも3月11日に発生したマグニチュード9.0の大地震は、大津波を引き起こし、未曾有の大災害をもたらした◆加えて東電福島第一原発は破壊され、いまだ放射能の恐怖におののき、国内のみならず世界中を巻き込んでいる◆犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された方々にお見舞いを申し上げます◆歴史上の記録に裏打ちされた対策も自然の猛威の前には無力であることが実証された形だが…◆一方、近年貞観(じょうがん)の大地震や大津波の存在が判明し、危惧する声があったとか…◆“温故知新”の教えが身にしみる◆今となっては、一刻も早い収束と復興を祈るばかりである。(高)